

13. 特別栽培農産物認証申請書等作成例

《申請書》

様式第1号(甲. 乙)	認証申請書	-----	66
様式第2号	現場栽培責任者及び現場確認責任者の配置計画	-----	69
別紙1-1	生産者等集計一覧表	-----	70
別紙1	生産者名等	-----	71
別紙2	生産計画	-----	72
別紙3	出荷計画	-----	73
別紙3-1	出荷販売計画	-----	74
別紙4	販売計画	-----	75
ガイドライン表示		-----	76
付表1	生産ほ場の周辺地図（ 現地検査時に提出 ）	-----	78
付表2	精米施設及び保管場所等の見取り図	-----	79
付表3	特別栽培米受払台帳	-----	80

山形県特別栽培農産物認証申請書

令和8年2月15日

公益財団法人 やまがた農業支援センター
理事長 殿

申請者 生産組織等名 JA〇〇特裁米研究会
申請(代表)者名 会長 〇〇 〇〇
郵便番号 012-3456
住所・所在地 〇〇市〇〇町〇-〇
電話番号 023-456-7890
FAX番号 023-456-9876
E-mail yamamaru@zenrei.or.jp

このことについて、公益財団法人やまがた農業支援センター特別栽培農産物認証業務規程第5条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。
なお、認証を受けるにあたっては、上記規程を遵守します。

記

生産は場が広範囲にわたる場合に配置できる

1 申請区分

申請区分	区分内容	現場栽培責任者等の有無
1	生産	—
2	生産	現場栽培責任者、現場確認責任者を配置する。
3	生産・精米	—
④	生産・精米	現場栽培責任者、現場確認責任者を配置する。
5	精米・販売	—

※該当する申請区分欄の番号に○を付す。

本申請書の添付資料は次のとおりとなりますので、十分確認の上提出してください。

申請区分		1	2	3	4	5
添付資料		生産	生産	生産精米	生産精米	精米販売
様式第2号	現場栽培責任者及び現場確認責任者の配置計画	—	○	—	○	—
別紙1	生産者名等	○	○	○	○	—
別紙1-1	生産者等集計一覧表	※1				—
別紙2	生産計画	○	○	○	○	—
別紙3	出荷計画	○	○	—	—	—
別紙3-1	出荷販売計画	—	—	○	○	—
別紙4	販売計画	—	—	—	—	○
	ガイドライン表示	○	○	○	○	○
付表1	生産ほ場周辺図	※2				—
付表2	精米施設及び保管場所等の見取り図	—	—	○	○	○
付表3	当該年の特別栽培米受払台帳	—	—	○	○	○
	農業技術普及課の指導助言資料	○	○	○	○	—
	含有化学合成窒素成分等の証明資料	○	○	○	○	—

※1 広域生産組織や多品種申請の場合、地域・現場確認責任者・品種ごとの集計一覧表(別紙1-1)を添付する。

※2 申請時は提出不要、現地検査時に提出できるよう準備する。

2 申請担当者連絡先

氏名	〇〇 〇〇	電話番号	023-456-7895
FAX	023-456-9877	携帯電話	090-1234-5678
部署名	JA〇〇 △△支所△△△△課		
資料送付先	〒990-0011 山形市緑町六丁目90-15 JA〇〇 △△支所△△△△課		

日中連絡のつく電話番号・携帯電話番号を記載する

センター受付

※「申請者」欄の住所・連絡先と異なる場合は必ず記入する。

3 栽培責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	◇◇ ◇◇		
電話番号	023-456-9999	F A X	023-456-9877
住 所	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	-	役 職	-

責任者名を個人名で表示する場合は「住 所」とする。

4 確認責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	×× ××		
電話番号	023-456-9998	F A X	023-456-1028
住 所	△△市●●町△番〇号		
主な履歴	年 月～H10年 3月	〇〇大学農学部卒業	
	H10年 4月～H21年 3月	J A △△入組 購買担当	
	H21年 4月～	就農	
	H30年 4月～	××地区実行組合副会長	

※主な履歴欄はその者の履歴を 3～4 つ程度記入する。

5 精米責任者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	◎◎ ◎◎		
電話番号	023-456-9997	F A X	023-456-9877
住 所	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	-	役 職	-

6 精米確認者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	□□ □□		
電話番号	023-457-5555	F A X	023-457-5556
住 所	〇〇市◎◎町△番〇号		
主な履歴	H5年 4月～	年 月	就農
	R1年 4月～	年 月	J A ○○地区△△部会長

※主な履歴欄はその者の履歴を 3～4 つ程度記入する。

7 認証シール枚数

項 目	大シール	小シール	計	備 考
貼付総枚数	132	12,628	12,760	
残シール枚数	35	205	240	①実績枚数 ②最終見込み枚数
交付申請枚数	100	12,430	12,530	

※貼付総枚数は別紙 3 出荷計画、別紙 3-1 出荷販売計画、別紙 4 販売計画の枚数を記入する。

※残シール枚数の計上区分について、①又は②のいずれかに○を付す。

※交付申請枚数は10枚単位に切り上げて記入する。

8 農家数(戸)

延戸数	実戸数
55	39

9 情報開示の可否

可	否
○	

※「可」に○を付すと当センターのホームページ上の認証登録一覧に、「品目・申請組織名・代表者名・市町村名・電話番号」を掲載します。

【各責任者を組織名で表示する場合】

3 栽培責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 営農部生産指導課 (総括：営農部次長 ◇◇ ◇◇)		
電話番号	023-456-9999	F A X	〇〇市〇〇町〇番△号
所 在 地	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	JA〇〇 営農部	役 職	次長

※が「」で表示する

※責任者を組

責任者名を組織名で表示する場合は「所在地」とする。

代表者名又は担当部署名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。所在地」とすること。

4 確認責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 営農部生産管理課 (総括：生産管理課長 ×× ××)		
電話番号	023-456-9998	F A X	023-456-9877
所 在 地	〇〇市〇〇町〇番△号		
主な履歴	S58年 4月～S63年 5月	〇〇農業協同組合営農部園芸課指導係長	
	S63年 6月～H12年 3月	〇〇農業協同組合営農部園芸課長	
	H12年 4月～H25年 4月	〇〇農業協同組合〇〇支店長	
	H25年 5月～H23年 4月	〇〇農業協同組合営農部生産管理課長	

※が「」で表示する

※責任者を組

責任者名を組織名とする場合は氏名欄に組織名を、代表者名又は担当部署名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。

主な履歴欄はその者の履歴を3～4つ程度記入する。

※責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

5 精米責任者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 営農部販売管理課 (総括：販売管理課長 ◎◎ ◎◎)		
電話番号	023-456-9997	F A X	023-456-9877
所 在 地	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	JA〇〇 営農部	役 職	販売管理課長

※責任者を組織名とする場合は氏名欄に組織名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。

※責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

6 精米確認者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 ◎◎センター (総括：センター長 □□ □□)		
電話番号	023-457-5555	F A X	023-457-5556
所 在 地	〇〇市◎◎町△番〇号		
主な履歴	H 5年 4月～H10年 3月	〇〇農業協同組合営農部稲作指導係長	
	H10年 4月～H15年 3月	〇〇農業協同組合営農部調査役	
	H15年 4月～H24年 3月	〇〇農業協同組合◎◎センター販売課長	
	H24年 4月～H24年 3月	〇〇農業協同組合◎◎センター長	

※が「」で表示する

※責任者を組

責任者名を組織名とする場合は氏名欄に組織名を、代表者名又は担当部署名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。

主な履歴欄はその者の履歴を3～4つ程度記入する。

※責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

7 認証シール枚数

項 目	大シール	小シール	計	備 考
貼付総枚数	132	12,628	12,760	
残シール枚数	35	205	240	①実績枚数 ②最終見込み枚数
交付申請枚数	100	12,430	12,530	

※貼付総枚数は別紙3出荷計画、別紙3-1出荷販売計画、別紙4販売計画の枚数を記入する。

※残シール枚数の計上区分について、①又は②のいずれかに○を付す。

※交付申請枚数は10枚単位に切り上げて記入する。

8 農家数(戸)

延戸数	実戸数
55	39

9 情報開示の可否

可	否
○	

※「可」に○を付すと当センターのホームページ上の認証登録一覧に、「品目・申請組織名・代表者名・市町村名・電話番号」を掲載します。

様式第2号 ※本様式は、申請区分①、③、⑤の場合は不要です。

現場栽培責任者及び現場確認責任者の配置計画

令和8年2月15日

※申請書提出年月日、又は人事異動等により各責任者を変更した年月日を記入する。

1 現場栽培責任者及び現場確認責任者の担当する地域

担当地域：〇〇市、△△市

2 現場栽培責任者

氏 名	□□ □□	電話番号	0239-66-9999
F A X	0239-66-9998		
住 所	〇〇市〇〇丁目〇〇番〇〇号		
組 織 名	〇〇特裁米研究会	役 職	〇〇部会長

3 現場確認責任者

氏 名	×× ××	電話番号	0239-99-9876
F A X	0239-67-8899		
住 所	△△市△△丁目△△-△△		
勤 務 先	〇〇農業協同組合〇〇支店		
主な履歴	S62年 4月～H10年 5月	〇〇農業協同組合営農部米穀部営農指導課	
	H10年 6月～H22年 3月	〇〇農業協同組合営農部米穀部営農指導課主任指導員	
	H22年 4月～R 1年 5月	〇〇農業協同組合営農部米穀部営農指導課課長補佐	
	R 1年 6月～	〇〇農業協同組合〇〇支店次長(現職)	

【注】「勤務先」欄への記入は、J A等の組織申請に限る。

4 担当地域の農家数(戸)

延戸数	実戸数
10	8

※現場栽培責任者、現場確認責任者のいずれか一方を配置する場合は、もう一方の欄に斜線を引くか、氏名欄に「配置なし」と記入する。

※配置人数が多い場合は、本様式における所定事項を網羅した一覧表形式として差し支えない。

令和 8 年 特別栽培農産物認証申請 生産者等集計一覧表

自動計算のセル

品種・作物名／集計区分		〇〇市 (①型)	△△市 (②型)	□□町 (①型)	××町 (②型)	◇◇村 (③型)							計
現場確認責任者名		×× ××	×× ××	〇〇 〇〇	△△ △△	□□ □□							
つや姫	栽培面積(a)	279.8	127.9										407.7
	延戸数	6	4										10
	ほ場数	9	4										13
はえぬき	栽培面積(a)			1,234.0	987.0								2,221.0
	延戸数			10	13								23
	ほ場数			55	47								102
コシヒカリ	栽培面積(a)		500.0	345.0		1,323.0							2,168.0
	延戸数		4	6		3							13
	ほ場数		20	14		46							80
ササニシキ	栽培面積(a)				1,070.0	1,100.0							2,170.0
	延戸数				3	6							9
	ほ場数				40	43							83
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
計	栽培面積(a)	279.8	627.9	1,579.0	2,057.0	2,423.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,966.7
	延戸数	6	8	16	16	9							55
	実戸数	6	4	10	13	6							39
	ほ場数	9	24	69	87	89							278

※集計一覧表の作成を要する条件：①JA等の申請で、支所支店単位で複数の現場確認責任者等を配置する場合、②生産者が複数の市町村に所在する場合、

③生産者並びに作物区分が多岐にわたり別紙 1 からの集計を補完する必要があると判断される場合。

※集計の第 1 キーは「生産者の所在市町村」とすること。

※農家実戸数は栽培面積の最も大きい作物でカウントする。なお、分類集計に時間を要する場合等は計欄に一括記入しても差し支えない。

※多品種により 1 枚で集計しきれない場合は、「計行の前に行コピー ⇒ 計欄の計算式修正」を行って、2 ページにわたる集計を行う。

生産者名等

作物・作型 品 種	生産者名	生産者住所	生産ほ場所在地	栽培面積 (a)	ほ場番号 (新規に○)	ほ場確認 (備考)
水稲 つや姫 ①	山形 次郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1234番	30.5	1	<div> <div>番号の脇に○を 付してもよい</div> </div>
	米田 実	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1235番	30.0	2	
	仁志 一郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1236番	29.8	3	
	清水 太郎	〇〇市〇〇町〇〇〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2233番	45.0	④	
	高橋 三郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2234番	35.0	5	
	松井 五郎	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2235番	30.0	6 ○	
	以下の生産ほ場が同一生産者の場合は 生産者名と生産者住所の記載を省略できる。		〇〇市〇〇町大字〇〇2236番	30.0	7	
			〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	39.5	8	
			〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	10.0	9	
小 計	延戸数 6 戸	同一地番でも畦畔で区切られていれば 生産ほ場は二つである。		a 279.8	ほ場数 9	確認ほ場数
水稲 つや姫 ②	北田 二郎	△△市〇〇町〇ー〇	△△市〇〇町大字〇〇350番	45.0	10	
	清水 静夫	△△市〇〇町〇〇〇	△△市〇〇町大字××880番	37.0	11	
	緑町 次郎	△△市〇〇町△△△	△△市〇〇町大字△△125	30.0	12	
	風間 五郎	△△市△△町△△△ー〇	△△市△△町大字999-1 △△市△△町大字999-2	15.9	13	
小 計	延戸数 4 戸	異なる地番でも畦畔で区 切られていなければ生産 ほ場は一つである。		a 127.9	ほ場数 4	確認ほ場数
品種計	延戸数10戸			a 407.7	ほ場数 13	確認ほ場数
水稲 はえぬき①	〇〇 ××	□□市□□町□ー□	□□市□□町大字□□500番	50.0	14	
小 計	延戸数10戸			a 1,234.0	ほ場数 55	確認ほ場数
水稲 はえぬき②	△△ 〇〇	××市××町×ー×	××市××町大字××150番	75.0	69	
小 計	延戸数13戸			a 987.0	ほ場数 47	確認ほ場数
品種計	延戸数23戸			a 2,221.0	ほ場数 102	確認ほ場数
合 計	延戸数 55戸 実戸数 39戸			a 6,966.7	ほ場数 278	確認ほ場数

n/N

ページ番号を記載すること

※作物・作型・品種欄は、適用される別紙2生産計画毎に小計を取るよう記載する。

※ほ場番号は申請全ほ場の通し番号を原則とする。現地検査はほ場番号で確認します。新規申請ほ場はほ場番号を丸で囲むこと。

※延戸数は作物・作型・品種毎の生産者数を計上、実戸数はこれらから重複生産者を除いた実数を計上すること。

※広域生産地域、多品種申請にあっては、別紙1ー1による集計一覧表を作成し、本表の前に添付すること。

令和 8 年 生 産 計 画

※ 同一品種で複数の生産計画を設定している場合は、
ガイドライン表示との関係を記入する。

備 考 つや姫① GLパターン:つ①

栽培責任者 ※2		確認責任者 ※2		現地等確認欄 ※3				生産実績確認欄 ※4				
所在地: ○○市○○町○番△号 氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産指導課(○○○○) TEL: 023-456-9999		所在地: ○○市○○町○番△号 氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産管理課(××××) TEL: 023-456-9998		ほ場確認 令和 年 月 日 確認責任者 栽培管理 令和 年 月 日 確認責任者 状況確認				令和 年 月 日 確認責任者				

作物、作型 (品種) (面積) (収量) ※1	作業状況 ※5		使 用 資 材																	
			施肥・土づくり						病害虫・雑草防除等				その他資材							
	作業名	月 日	名 称 (N-P-K%)	化学由 来N%	10a当たり使用量		使用時期		名 称 (成分名)	希釈倍率 (実績)	散布量 (実績)	使用方法 (実績)	使用時期 (実績)	名称及び 使用方法						
					現物量	化学由 来N量	計画	実績												
作物・品種 水稻 つや姫 ① 面積(a) 279.8 収量 (kg/10a) 540	収穫終了	10/15	育 苗 ○○培土 (1.8-1.8-1.8g/箱)	9.7	肥料の入っていない培土 の場合にも記載する		4/20		温湯浸法 又は テクリートCフロアブル (水酸化第二銅・ イソコナゾール)	200倍	50g/箱	種子浸漬 60℃15分 24時間 種子浸漬	4/1 4/1							
	播種	4/20			1.8g/箱*24箱 44g 44g		5/5													
					6g/箱*24箱 144g 14g															
	移植	5/20	本 田 ・ 本 畑	○○太郎 (0-6-0)	0.0	60kg	0.00	4/15							ピクトリール1キロ粒剤 (ピラクロニル、プロピリスルホン)	-	1kg/10a	湛水散布	5/22	
				ダテユキベレット (3.5-3.5-2)	0.0	45kg	0.00	4/15												
				つや姫特栽 すご稲200 (12-10-10)	5.9	55kg	3.25	4/30												
	収穫	10/1		小 計		0.06 kg									-	1kg/10a	湛水散布	6/30	7/27	8/20
				小 計		3.25 kg														
				慣行レベルの窒素成分量 7.12 kg		合 計	化学肥料由来の窒素成分量 3.31 kg 慣行対比 5 削減								慣行レベルの成分回数 20 回		合計: 10 回 うち殺菌 3回、殺虫 3回、除草 4回、その他 0回 慣行対比 5 削減		0回の場合も「0」 を記載する	

※1 慣行レベルの表の「品目名・作型等」ごとに作成する。同一慣行レベルの品種をまとめて作成してもよい。この際には品種、面積、収量を数段にして記載する。

※2 各責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

※3 確認責任者は、ほ場確認、栽培管理状況確認を行い、その内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※4 確認責任者は、生産実績の内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※5 作業状況欄には、施肥、防除以外の主な作業を記入すること。

令和 8 年 出 荷 計 画（出 荷 実 績）

								出荷実績確認欄 ※5		
								令和 年 月 日		
								確認責任者		
作物及び作型 （品種）※1	出 荷 期 間	形 態 別 出 荷 数（上段：包装単位の重量、下段：出荷袋等の数）						出荷量計 ※2	出荷先 ※2※3 （団体等所在地）	認証シール 使用枚数 ※4
		フレコン(kg)	バラ(kg)	束(kg)	箱(kg)	袋(kg)	その他			
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	(1,080kg) 3	※ 包装単位が同一の場合は最上段のみの記入で差し支えない。			(30kg) 402		15,300	J A〇〇 (〇〇市)	大 3 枚 小 402 枚
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日					225		6,750	- 未定 -	大 枚 小 225 枚
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	24				1,356		66,600	J A〇〇 (〇〇市)	大 24 枚 小 1,356 枚
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	8				1,487		53,250	- 未定 -	大 8 枚 小 1,487 枚
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	55				1,920		117,000	J A〇〇 (〇〇市)	大 55 枚 小 1,920 枚
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	50				2,100		117,000	〇〇米商 (〇〇県△△市)	大 50 枚 小 2,100 枚
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚
		※ 出荷量は「栽培面積×10a当り収穫量」で求められる数量とほぼ一致すること。 （自家消費米、縁故販売米等についても、総量管理の視点から全て含めて計上し、実績報告で詳細を明らかにする。）								大 枚 小 枚
										大 枚 小 枚
		※ 一定の束や小分け袋を箱で出荷し箱単位に認証シールを使用する場合は箱欄に「〇kg×〇束(袋)入り」と記入する。 （この場合、店頭において束や袋単位で消費者に販売される場合はガイドライン表示方法に注意すること。）								大 枚 小 枚
計	袋数(上段) 出荷量(下段)	140 151,200				7,500 225,000		376,200		大 140 枚 小 7,490 枚

※1 同じ作物で作型が異なる場合は、作型毎に記入する。
※2 総出荷量をkg単位記入すること。また、申請時に出荷先未定の場合は「出荷先」欄は「未定」と記入する。
※3 出荷（販売）先は、申請者自らとしてはならない。自己加工原料向けについては、その旨を記入する。
※4 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※5 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入すること。

令和 8 年 出 荷 販 売 計 画 （ 出 荷 販 売 実 績 ）														出荷販売実績確認欄 ※7						
														令和 年 月 日		確認責任者 精米確認者				
作物及び作型 （品種）※1	出荷販売期間	玄米生産量（生産計画から算出）※2				形態別出荷販売数（玄米生産量を出荷形態別に振分ける） ※3								（上段：袋数、下段kg）		※5 出荷販売先 （販売店等所在地）		※6 認証シール 使用枚数		備 考
		形態	kg/袋	袋数	数量	表示区分	フルコン(1080kg)	袋(30kg)	袋(10kg)	袋(5kg)	袋(2kg)	袋(kg)	袋(kg)	玄米	精米					
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	3	3,240	特裁玄米	3							3 3,240	JA〇〇 （〇〇市）	大 3 枚 小 枚				
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	402	12,060	特裁玄米		402						402 12,060	JA〇〇 （〇〇市）	大 枚 小 402 枚				
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	225	6,750	特裁玄米		225						225 6,750	未定	大 枚 小 225 枚				
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5						5 150	自家消費米	大 枚 小 枚				
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	24	25,920	特裁玄米	24							24 25,920	JA〇〇 （〇〇市）	大 24 枚 小 枚				
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,356	40,680	特裁玄米		1,356						1,356 40,680	JA〇〇 （〇〇市）	大 枚 小 1,356 枚				
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	8	8,640	特裁精米			778					778 7,780	㈱〇〇米店 （〇〇都〇〇区）	大 枚 小 778 枚				
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	712	21,360	特裁精米			1,922					1,922 19,220	㈱〇〇米店 （〇〇都〇〇区）	大 枚 小 1,922 枚				
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	775	23,250	特裁玄米 （小分け）			1,400	1,400	1,125			3,925 23,250	㈱〇〇米店 （〇〇都〇〇区）	大 枚 小 3,925 枚				
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	55	59,400	特裁玄米	55							55 59,400	JA〇〇 （〇〇市）	大 55 枚 小 枚				
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,920	57,600	特裁玄米		1,920						1,920 57,600	JA〇〇 （〇〇市）	大 枚 小 1,920 枚				
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	50	54,000	特裁玄米	50							50 54,000	㈱〇〇米商 （□□県◇◇市）	大 50 枚 小 枚				
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	2,100	63,000	特裁玄米		2,100						2,100 63,000	㈱〇〇米商 （□□県◇◇市）	大 枚 小 2,100 枚				
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5						5 150	自家消費米	大 枚 小 枚				
計						袋数	132	6,013	4,100	1,400	1,125			10,070	2,700		大 132 枚			
						数量	142,560	180,390	41,000	7,000	2,250			346,200	27,000		小 12,628 枚			

※1 同一作物で作型・品種が異なる場合は、作型品種毎及び出荷販売の形態別、出荷販売先別に記入する。
※2 玄米生産量欄は「栽培面積×10a当り収穫量」を基本として記入する。
※3 形態別出荷販売数欄の「袋(kg)」は実態に則した容量に訂正して記入する。
※4 上段には出荷販売袋数等の計、下段には出荷販売量の計を記入する。
※5 申請時に出荷販売先未定の場合、出荷販売先欄は「未定」と記入する。
※6 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※7 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
※8 出荷販売計画の変更、認証ｼｰﾙ追加交付依頼、実績報告書の提出にあたっては、変更前・変更後を別葉で提出して差し支えない。
※9 記載行が不足する場合は複数ページで作成し、最終ページ以外は「計」をページ毎の「小計」に訂正する。

令和 8 年 販 売 計 画

販売実績確認欄 ※4			
令和 年 月 日			
精米確認者			

作物・作型 品 種	入 荷 先 等		形態別入荷数			入荷量計 (kg)	販売期間	形態別販売数			販売量計 (kg)	認証シール 使用枚数 ※3			
	入荷先※1※2 (認証登録者名)	入荷時期	形 態	kg／袋	袋 数			形 態	kg／袋	袋数					
														ガイドライン表示	
水稻 はえぬき②	JA〇〇特裁米研究会 はえぬき②空散タイプ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1080kg	8	30,000	10.10 ～ 9.30	ビニル袋 (精米)	10kg	2,700	27,000	大 小	枚 2,700 枚		
			紙袋	30kg	712										
水稻 はえぬき②	JA〇〇特裁米研究会 はえぬき②空散タイプ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30kg	775	23,250	10.10 ～9.30	ビニル袋 (玄米)	10kg	1,400	14,000	大 小	枚 3,925 枚		
									5kg	1,400	7,000				
									2kg	1,125	2,250				
	※認証登録者名を必ず記入する。 ※認証登録者に複数の生産パターンがある場合はガイドライン表示のパターン区分も記入する。											大 小	枚 枚		
			※ 玄米袋を開封し色彩選別、石抜き、小分けして玄米で販売する場合は、 形態別販売数の形態欄にその旨を注記する。											大 小	枚 枚
			※ 入荷袋をそのまま販売するものは計上してはならない。											大 小	枚 枚
												大 小	枚 枚		
												大 小	枚 枚		
												大 小	枚 枚		
計					1,495	53,250				6,625	50,250	大 小	0 枚 6,625 枚		

※1 米穀集荷業者から入荷する場合は、認証登録者名を（ ）書きで入れる。
※2 認証登録者が同一品種で複数の生産方式となっている場合は、ガイドライン表示が特定できるよう生産者名の記入、パターン名の記入など生産方式が特定できるようにする。
※3 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※4 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
販売を主として担当する者以外の者が確認するものとする。

ガイドライン表示（個人名）

品種名 つや姫

パターン区分 パターン①

【生産出荷用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ◇◇ ◇◇		クロラントラニプロール	殺虫	1回
住所 山形県〇〇市〇〇町〇番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ×× ××		ダイムロン	除草	1回
住所 山形県△△市●●町△番〇号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9999		アゾキシストロビン	殺菌	1回
		エトフェンプロックス	殺虫	1回
		ジノテフラン	殺虫	1回

【一括表示欄】

【セット表示欄】

【精米販売用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ◇◇ ◇◇		クロラントラニプロール	殺虫	1回
住所 山形県〇〇市〇〇町〇番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ×× ××		ダイムロン	除草	1回
住所 山形県△△市●●町△番〇号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9998		アゾキシストロビン	殺菌	1回
精米確認者 □□ □□		エトフェンプロックス	殺虫	1回
住所 山形県〇〇市◎◎町△番〇号		ジノテフラン	殺虫	1回
連絡先 023-457-5555				

注1 可能な限り、実際に貼付する様式のを添付すること。

注2 名称の表示は、「特別栽培農産物」又は「特別栽培〇〇」とする。

※「〇〇」は、県が定める慣行レベルで示す品目名（水稻の場合は「米」）とする。

注3 複数の品種、複数の生産パターンで申請する場合は、生産パターンと表示内容の関連を「品種名」、「パターン区分」で明らかにすること。

注4 農薬の使用表示

農薬を全く使用していない場合

「農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬以外の農薬のみを使用している場合

「節減対象農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬を使用している場合

「節減対象農薬：当地比 ○割減」

この場合、節減対象農薬以外の使用資材名（成分名）は表示しない。

注5 化学肥料の使用表示

窒素成分を含む化学肥料を使用していない場合

「化学肥料(窒素成分)：栽培期間中不使用」

窒素成分を含む化学肥料を使用している場合

「化学肥料(窒素成分)：当地比 ○割減」

注6 栽培責任者、確認責任者、精米確認者の表示を個人名とする場合は「住所」、組織名とする場合は「所在地」とし、記入した内容は様式第1号(乙)と一致すること。

注7 住所、所在地は原則として「山形県」から記入すること。

注8 節減対象農薬の使用状況について、容器や包装又は票片に表示できない場合は、ホームページ等で表示を行うものとし、消費者が情報入手可能なアドレス等を一括表示枠内に掲載する。

注9 テープ、シール等による略式表示

(7)表示ガイドラインに準拠している旨の表示、(イ)特別栽培農産物の名称、(ウ)栽培責任者又は確認責任者の氏名(又は組織名)、(7)及び(イ)を除く全ての表示項目に関する情報入手方法を表示する。

詳しくは、国の表示ガイドライン別記3略式表示例を参照のこと。

注10 表示禁止事項

表示ガイドラインで示される表示事項以外の表示、「天然栽培、自然栽培」等紛らわしい用語、通常のものより優良又は有利であると誤認させる用語、当該農産物の栽培方法や品質等を誤認させる文字・イラスト・写真等、更に「無……」、「減……」等は表示枠外であっても表示してはならない。

※ 申請において実際に使用しない不用な表示枠、表示項目は削除して提出すること。

ガイドライン表示（組織名）

品種名 つや姫

パターン区分 パターン①

【生産出荷用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ○○南部農業協同組合 営農部生産指導課		クロラントラニリプロール	殺虫	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ○○南部農業協同組合 営農部生産管理課		ダイムロン	除草	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9999		アゾキシストロビン	殺菌	1回
		エトフェンプロックス	殺虫	1回
		ジノテフラン	殺虫	1回

【一括表示欄】

【セット表示欄】

【精米販売用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産指導課		クロラントラニリプロール	殺虫	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産管理課		ダイムロン	除草	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9998		アゾキシストロビン	殺菌	1回
精米確認者 ○○南部農業協同組合 ◎◎センター		エトフェンプロックス	殺虫	1回
所在地 山形県○○市◎◎町△番○号		ジノテフラン	殺虫	1回
連絡先 023-457-5555				

注1 可能な限り、実際に貼付する様式のものを添付すること。

注2 名称の表示は、「特別栽培農産物」又は「特別栽培○○」とする。

※「○○」は、県が定める慣行レベルで示す品目名（水稻の場合は「米」）とする。

注3 複数の品種、複数の生産パターンで申請する場合は、生産パターンと表示内容の関連を「品種名」、「パターン区分」で明らかにすること。

注4 農薬の使用表示

農薬を全く使用していない場合

「農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬以外の農薬のみを使用している場合

「節減対象農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬を使用している場合

「節減対象農薬：当地比 ○割減」

この場合、節減対象農薬以外の使用資材名（成分名）は表示しない。

注5 化学肥料の使用表示

窒素成分を含む化学肥料を使用していない場合

「化学肥料(窒素成分)：栽培期間中不使用」

窒素成分を含む化学肥料を使用している場合

「化学肥料(窒素成分)：当地比 ○割減」

注6 栽培責任者、確認責任者、精米確認者の表示を個人名とする場合は「住所」、組織名とする場合は「所在地」とし、記入した内容は様式第1号(乙)と一致すること。

注7 住所、所在地は原則として「山形県」から記入すること。

注8 節減対象農薬の使用状況について、容器や包装又は票片に表示できない場合は、ホームページ等で表示を行うものとし、消費者が情報入手可能なアドレス等を一括表示枠内に掲載する。

注9 テープ、シール等による略式表示

(7)表示ガイドラインに準拠している旨の表示、(4)特別栽培農産物の名称、(9)栽培責任者又は確認責任者の氏名(又は組織名)、(7)及び(4)を除く全ての表示項目に関する情報入手方法を表示する。

詳しくは、国の表示ガイドライン別記3略式表示例を参照のこと。

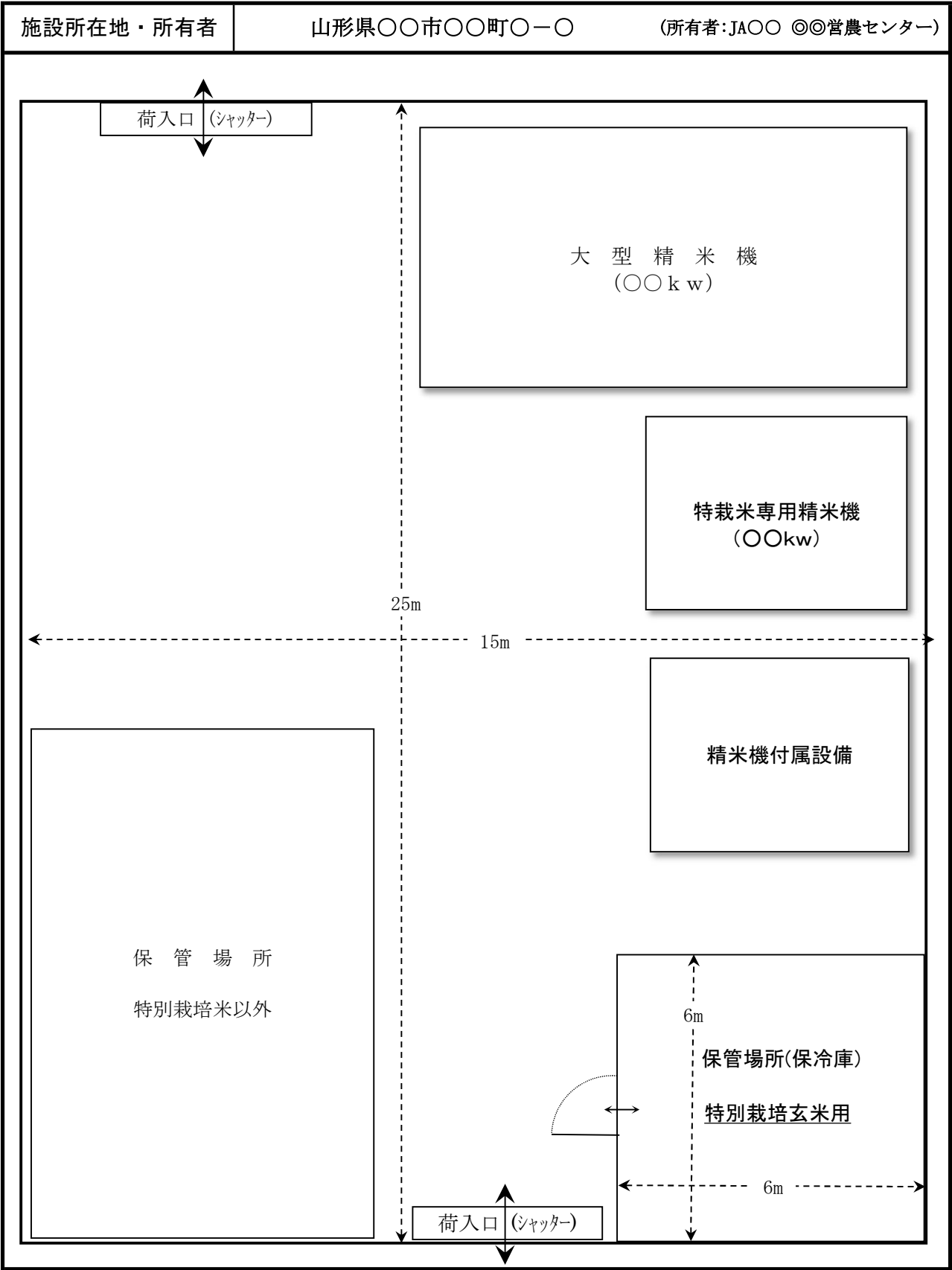
注10 表示禁止事項

表示ガイドラインで示される表示事項以外の表示、「天然栽培、自然栽培」等紛らわしい用語、通常のものより優良又は有利であると誤認させる用語、当該農産物の栽培方法や品質等を誤認させる文字・イラスト・写真等、更に「無……」、「減……」等は表示枠外であっても表示してはならない。

※ 申請において実際に使用しない不用な表示枠、表示項目は削除して提出すること。

注5 本資料は現地検査時に使用するので準備しておくこと。(申請時の提出は必要ない。)

精米施設及び保管場所等の見取り図



注1 保管場所、作業所の広さ(寸法)を示すこと。
注2 精米機等の配置が分かるように記入すること。
注3 出入口を明記すること。
注4 複数の施設を使用する計画の場合は、全ての施設について提出すること。

＜各責任者を組織名で表示する場合の記入例＞

[illegible]

※5 認証シール貼付枚数欄を設けるなどの様式変更は差し支えない。